

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2005年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか2番)

この水をのむものはだれでも、またかわくであろう。しかし、わたしが与える水をのむものは、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちでいずみとなり、えいえんの命にいたる水が、わきあがるであろう。

ヨハネによる福音書4章13～14節

教会学校では、毎年5月の中ごろ、教会から歩いてすぐの、えぼし岩の見える茅ヶ崎海岸に集まり、砂浜で思いっきり遊ぶビーチプレイデイを開催しています。最近ではドッジボールが恒例で、親子対決や教師対生徒対決など、プヨプヨボールながらも教会学校行事とは思えない真剣勝負の大迫力場面が見ものとなっています。今回は成人科担当の古川盛弘兄が独特のタッチでレポートしてくれました。

2005年ビーチプレイデイ・レポート

5月15日のCSビーチプレイデイの報告をします。参加人数は教師を含め大人15人、子ども7人でした。当日は、朝からどんよりと曇った空模様で、開催の心配をしましたが、午後になると夏を思わせるような晴れとなり、みんなが待ち望んだビーチプレイデイを行えることができました。神さまに感謝いたします。

ゲームは、ドッジボール、玉入れ、ビーチフラッグ、りんごの木(勝手にネーミングしました)をしました。いつも子どもたちからドッジボールやろうよとせかされるため、ドッジボールは外せないメニューとなっています。

初めにドッジボールをし、大人対子どもで試合をし、2対1で大人の勝利でした(イエーイ)。次に大人女性陣対子どもたちの試合をしました。この時は子ども



たちの勝利となり、子どもたちも満足げでした。男性対女性でも試合をし、男性陣の勝利となりました。ドッジボールではもう迷物(失礼!!)となった三大親子(弓桁家、加藤家、早坂家)の対決を楽しみにしていたのですが、残念ながら今年の参加は加藤家のみとなってしまいました。

絵美ちゃん対康彦パパ(加藤先生の大事な大事な旦那さま~)の白熱した親子対決、また容赦ない攻撃にみんな逃げ惑っていました。久々に帰ってきた梅ちゃん、近ちゃん、そして真祈先生も狭いコート内ではしゃいでいました。安里ちゃん、祝ちゃん、純ちゃん、まりこちゃん、菜摘ちゃんも年々強くなって勇敢に男性陣のボールを取っていました。唯一の男子、年長クラスのひかる君も参加してくれ、みんなひかる君には優しくボールを渡したりして白熱したムードの中にも、微笑ましい場面も見られました。

次に「りんごの木」をして遊びました。りんごの木とは、段ボールで木の形を作り、実の部分は大小6~7個の穴を開け、穴が小さいほど高得点にし、1人赤い玉を6個持ち、玉として離れた所から穴に向けて投げるゲームです。みんなが注目する中、1人ずつ投げるため、かなり緊張した様子でした。前半の1位は梅ちゃんと加藤康彦パパの50点で、このまま優勝かと思ったのですが、この後何と奇蹟が起こったのです(ウヒャー)。何と!よわい65を数える教会学校の重鎮的存在、お久しぶり~ね~の飯田純子先生が、自らの年齢を超える80点という素晴らしい点を叩き出し、私は度肝を抜かれてしまいました。イチロー選手のレーザービームのように(?),正確な投法(エッ?)で40点の穴に2回も赤玉が吸い込まれたのです。ちなみにブービーメーカーは森本校長で、大物狙い失敗の0点!0点でした(ギャハハ、おいおい大丈夫って感じ)。最後に投げたのが誰か忘れてしまいましたが、最後の一球で弓桁先生に当たり、スローモーションで加藤先生と2人で倒れ、その後砂の上で大笑いをしている様子は、見ていておかしかったです。

次に玉入れをしました。2組にわかれて白組のかご持ちは森本校長、紅組は私が持ちました。子どもたち、大人たちみんな必死で玉を入れようと頑張っていました。私は恐怖でした。頭や顔に玉がボコボコ当たるからです。せっかくの男



前が台無し(違うだろ,ポカッ)。校長は頭に刺激となり血行がよくなって髪がフサフサに(!?)。すみません。それくらいみんな無我夢中でした。結果は1個差で白組の勝利となりました(もう少しかごを下げておけばよかった,残念。紅白玉入れ斬り!?)。

そして最後には,ビーチフラッグをしました。純ちゃんの案でトーナメント式にし,次々とフラッグ代わりのペットボトルへとみんな突進していく様子は,ただ見るだけでも応援する甲斐があります。準々決勝,準決勝とコマを進めていくうちに頭角を現してきたのは最年少のひかる君でした。ハンディはあるものの見事優勝したのです。

みんな笑顔で幸せを感じるひとときを過ごすことができました。冒頭でも申し上げましたが,神さまに感謝したいと思います。あっ,そうそう忘れてはいけない超ゴージャス姉妹(叶姉妹を超えたと..)2人組,弓桁・加藤先生の笑い声が海辺にするどく響きまくっていました。(古川盛弘 記)

編集後記 (June,5th. 2005 Updated)



ビーチプレイデイはお天気次第なので,例年雨の日プログラムも考えておりましたが,今年は雨天順延,それでも雨ならば中止としました。当日は,みんなの願いがかなったのか午後から暑い日ざしとなり,存分に遊ぶことができました。責任者の古川先生のレポートも面白く書かれています。さて夏休みに入ると奥多摩での夏期学校が計画されています。今度は海辺から緑と清流の渓谷での楽しいプログラムがみなさんをまっています。(森本)